

さらさらと流れる川に桜東風  
 春が来て見わたすかぎり山桜  
 春の風鎌足桜ゆらゆらと  
 夕暮れのすべてのさくらさようなら  
 桜咲く暖かい日に響く笛  
 咲き揃う鎌足桜息をのむ  
 思ひ出す落花ひとひら君の聲  
 ベンチでね俳句を作ろう山桜  
 晴れた日に輝く退紅桜狩り  
 ちる桜かなしいきもちつれていく  
 春の朝涼しい風にゆれる花  
 夕暮れの花びらなびく山桜  
 桜散りかすかに聞こえる神楽笛  
 鳥たちの姿隠すは桜かな  
 鬼ごっこさくらとともに春の風  
 そよそよと桜の花びら川泳ぐ  
 青天井一人美し遅桜  
 春の暮後ろ姿の花と華  
 「いかないで！」葉っぱが桜にいつている  
 朝景色花びらひらひら春の風  
 思ひ出の桜の下に恋おちる  
 夜桜や銀砂の輝き合わせ持つ  
 夏近し花びらが散る桜の木  
 風吹けばさくらと共に笛の声  
 始まりも終わりも桜三年間  
 ひとめぼれさくらのひとみ風もまた  
 やつてきた恋のお知らせ花嵐  
 日の暮れに茜の公園桜道  
 届かずも君の瞳に咲き誇る  
 春風やまどろむ瞼に花卉落つ  
 雉鳴いてさらに映えたる花蕾かな  
 やわらかな日差の中で桜狩り  
 桜人木陰で安らうかくれんぼ  
 八重桜鎌つ子の声を待ちわびて  
 風そよぐ見あげる葉桜季節往く  
 鎌足の緑に守られ桜咲く  
 里桜優しい色に癒される  
 薄桜みんなの笑顔思ひ出す  
 影の中ゆれる枝葉と散る桜  
 満開の桜に似たり我が人生  
 花謳う四季の旅路に風かをる

The wind of spring Thirty eight students  
 Their smiles like the sun